クイックスタートガイド

JP

TCS Passive Series

TCS62 (WH), TCS122/64 (WH), TCS122/96 (WH), TCS122/94 (WH),
TCS152/64 (WH), TCS152/96 (WH), TCS152/94 (WH), TCS115B (WH),
TCS218B (WH), TCS110B (WH), TCS212B (WH)

Arrayable Full Range Loudspeakers and Subwoofers for Installation Applications

V 1.0

Turbosound

JP

JP 安全にお使いいただくために

注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ(三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

JP

アプリケーションに Turbosound スピーカー製品をお選びいただきありがとうございます。この製品またはその他の Turbosound 製品の詳細については、当社の Web サイト turbosound.com をご覧ください。

スピーカーの開梱

ユニットを開梱した後、損傷がないか注意深く確認してください。損傷が見つかった場合は、すぐにサプライヤーに通知してください。荷受人であるあなたは、いかなる請求も扇動しなければなりません。今後の再発送に備えて、すべてのパッケージを保管してください。

システム要件–パッシブおよびバイアンプラウドスピーカー

TCS62 2 ウェイスピーカーはパッシブシステムとして動作し、必要なアンプチャンネルは1つだけです。入力信号は、パッシブクロスオーバーを使用して内部で低周波ドライバーと高周波ドライバーに分割されます。

TCS122 と TCS152 は、切り替え可能なパッシブ/バイアンプ 2 ウェイスピーカーです。パッシブ操作（フルレンジまたはサブウーファーを使用）には、1 つのアンプチャンネルと 1 つのコントローラーチャンネルが必要です。入力信号は、パッシブクロスオーバーを使用して内部で低周波数ドライバーと高周波数ドライバーに分割されます。バイアンプ操作（フルレンジまたはサブウーファーを使用）には、2つのアンプチャンネルと2つのコントローラーチャンネルが必要です。1 つは低周波数用、もう1つは高周波数用です。入力信号はコントローラーの低周波数ドライバーと高周波数ドライバーに分割され、個々の増幅された信号がスピーカー入力に供給されます。

TCS218B サブウーファーには、パラレルモードまたはディスクリートモードでの動作を可能にする切り替え可能な入力があります。並列運転は、内部で両方のドライバを並列に接続します。操作には、1 つのアンプチャネルと 1 つのコントローラチャネルが必要です。ディスクリート操作は、各ドライバーを入力の 2 つのチャネルに個別に接続します。操作には、1 つのアンプチャネルと最低 1 つのコントローラチャネルが必要です。

TCS115B、TCS212B、および TCS110B サブウーファーはパッシブシステムとして動作し、必要なアンプチャンネルは1つだけです。

すべてのモデルの正しいコントローラー設定、ホーンのバリエーション、サブウーファーの操作は Web サイトからダウンロードでき、LMS シリーズコントローラーのプレゼントとしても入手できます。

アンプの電力を浪費しないようにするには、1.5 mm2（16 AWG）、できれば 2.5 mm2（14 AWG）の最小ワイヤサイズの頑丈なスピーカーケーブルを使用する必要があります。 TCS212B と TCS218B、および並列に配線されたスピーカーには、より大きなワイヤサイズを使用してください。極端なケーブル長の場合は、ケーブルのインピーダンスと抵抗損失に注意してください。常に正しい極性を守ってください。

TCS Passive Series

アンプに関する考慮事項

TCS シリーズスピーカーは、LMS シリーズコントローラーを備えた Turbosound T シリーズアンプでの使用に最適化されています。Turbosound web サイトからダウンロードできるように、あらゆる構成に適した DSP 設定の全範囲が提供されています。サードパーティの増幅と処理の使用は、手動設定のマトリックスと Turbosound web サイトで提供されているリミッター計算機を使用することをお勧めします。TCS シリーズスピーカーエンクロージャーは、真のプロフェッショナル用途向けに設計された高品質のパワーアンプで駆動する必要があります。パワーアンプは、指定された公称インピーダンスでスピーカーのピーク電力定格の半分に等しい長期ブロードバンド電力を供給できる必要があります。信号が大きくクリップされるとスピーカーが恒久的に損傷する可能性があるため、電力不足のアンプの使用は避けてください。リミッター、クロスオーバーとイコライゼーションポイントは、Turbosound web サイトで提供されている設定に従って設定する必要があります。これにより、最適な音質と長期的な信頼性、および損傷からの保護が保証されます。

NeutrikspeakON * NL4 ロッキング入力コネクタと4方向バリアストリップが提供されており、入力とリンク、パッシブ、バイアンプ、パラレル、ディスクリート操作のオプションが可能です。

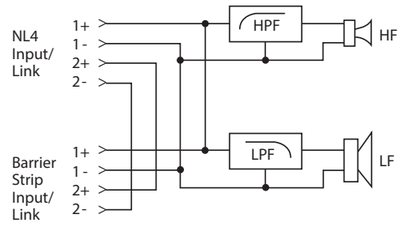
推奨される最小アンプパワー

モデル		TCS62	TCS122			TCS152			TCS110B	TCS212B	TCS115B	TCS218B
モード		受動的	受動的	バイアンプ LF	バイアンプ LF	受動的	バイアンプ LF	バイアンプ HF	受動的	受動的	受動的	受動的
インピーダンス		8 オーム	8 オーム	8 オーム	6 オーム	8 オーム	8 オーム	6 オーム	8 オーム	4 オーム	8 オーム	4 オーム
最小アンプパワー	連続 RMS	175 W	600 W	600 W	75 W	600 W	600 W	75 W	300 W	800 W	500 W	1600 W
	ピーク	700 W	2400 W	2400 W	750 W	2400 W	2400 W	750 W	1200 W	3200 W	2000 W	6400 W

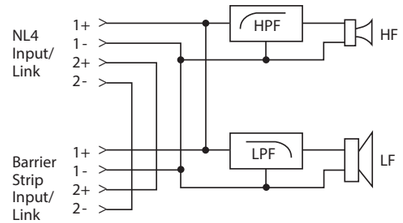
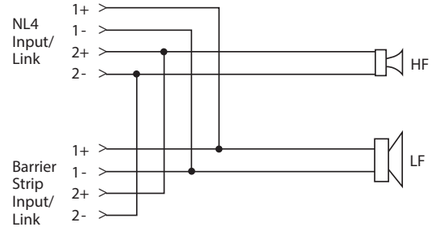
JP

接続

TCS62

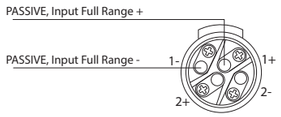
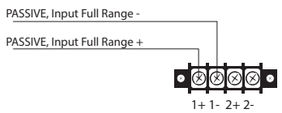
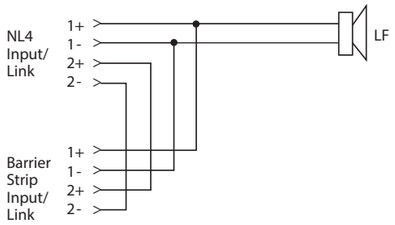
モード	背面パネル	コネクタ	内部概略図
Passive Only		speakON* NL4 PASSIVE, Input Full Range + PASSIVE, Input Full Range - Barrier Strip PASSIVE, Input Full Range - PASSIVE, Input Full Range +	

TCS122, TCS152

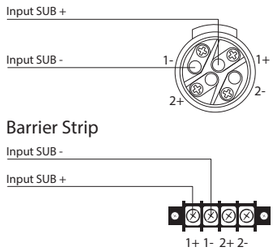
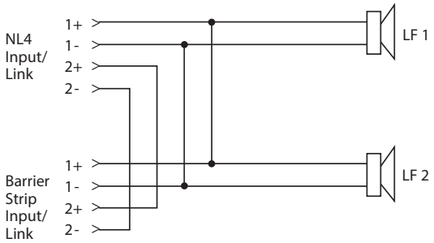
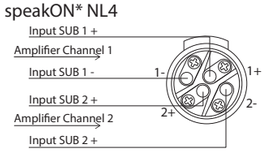
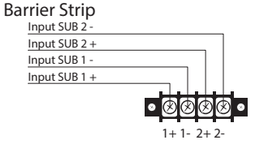
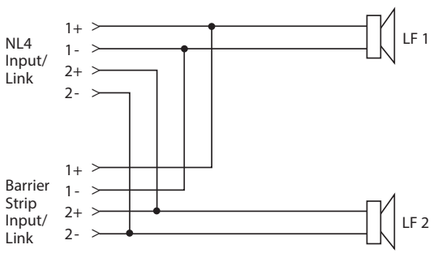
モード	背面パネル	コネクタ	内部概略図
Passive		speakON* NL4 PASSIVE, Input Full Range + PASSIVE, Input Full Range - Barrier Strip PASSIVE, Input Full Range - PASSIVE, Input Full Range +	
Bi-Amp		speakON* NL4 BI-AMP, Input Low + Amplifier Channel 1 BI-AMP, Input Low - BI-AMP, Input High + Amplifier Channel 2 BI-AMP, Input High - Barrier Strip BI-AMP, Input High - BI-AMP, Input High + BI-AMP, Input Low - BI-AMP, Input Low +	

TCS Passive Series

TCS110B, TCS212B, TCS115B

モード	背面パネル	コネクタ	内部概略図
Passive		speakON* NL4  Barrier Strip  	

TCS218B

モード	背面パネル	コネクタ	内部概略図
Parallel		speakON* NL4  	
Discrete		speakON* NL4  Barrier Strip  	

JP

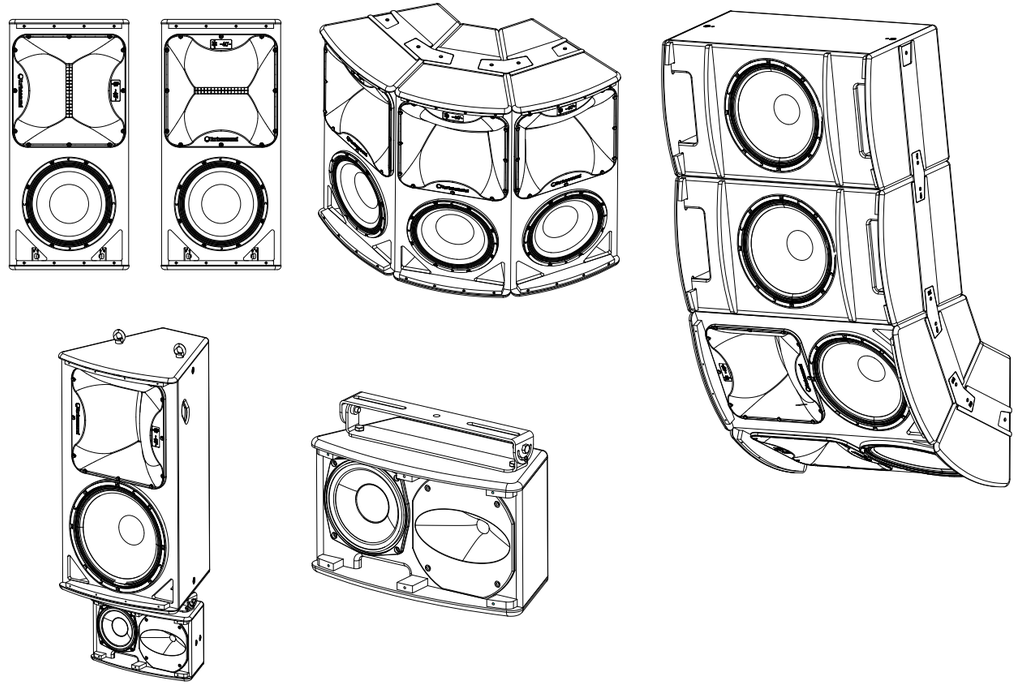
取り付けと固定

以下の表は、さまざまなアプリケーションに必要なリギングパーツまたはキットをまとめたものであり、可能なリギングオプションの例をいくつか示しています。

TCS シリーズのキャビネットは、恒久的な設置で考えられる多くの取り付け方法に適合するように、複数の内部リギングポイントを備えて設計されています。すべてのキャビネットは、付属の内部リギングポイントに結合されたオプションの M8 または M10 ショルダーアイボルトを使用して簡単に吊り下げることができます。適切な皿ネジを取り外し、ネジ山の長さが 18mm 以上のアイボルトと交換します。後部のリギングポイントを使用してキャビネットに角度を付け、部屋を最適にカバーします。必要に応じて、キャビネットを逆さまに吊るすことができます。 Turbosound WB-20、WB-55、および CB-55 の壁と天井のブラケットは TCS シリーズのキャビネットでオプションで利用でき、これらは 60 mm x 60mm の穴間隔を使用する OmniMount *の壁と天井のブラケットとも互換性があります。

モデル	壁	天井	ダウンフィル	アレイキット	アイボルト
TCS62	WB-20 TCS62-SB	CB-55 TCS62-SB	TCS62-SB		M8 スレッド
TCS122	WB-55	CB-55		TCS122-FP TCS-FK1 TCS-FK2	EB-10-40
TCS152	WB-55	CB-55		TCS152-FP TCS-FK1 TCS-FK2	EB-10-40
TCS115B				TCS115-FP TCS-FK3	EB-10-40
TCS Subwoofers					EB-10-40

可能なリギングオプションのいくつかの典型的な例を以下に示します。



JP

TCS Passive Series

TCS シリーズフライングコンポーネント

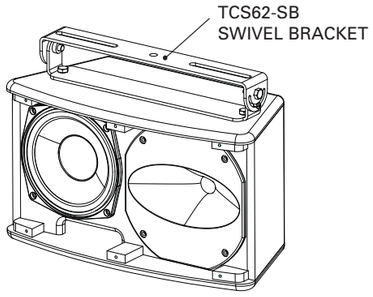
壁と天井のブラケット

Turbosound の壁と天井のブラケットを使用してスピーカーを取り付けるには、最初にブラケットを壁/天井プレートとスピーカープレートの構成部品に分離します。キャビネットの背面パネルにある皿ボルトを取り外します。付属のボルトでスピーカープレートをキャビネットに取り付けます。適切な固定具（付属していません）を使用して、会場の壁/天井プレートを固定します。スピーカーを壁板に持ち上げてブラケット部品を組み立て直し、頂角を調整してすべてのボルトを締めます。

ダウンフィルアプリケーション

TCS62 は、TCS122 または TCS152 キャビネットの下に取り付けて、TCS62-SB スイベルブラケットを使用してダウンフィルカバレッジを提供できます。まず、スイベルブラケットを構成部品に分解します。TCS152 キャビネットの下部パネルから皿ボルトを取り外し、付属の固定具を使用してセクションを細長い穴に取り付けます。トップパネルの皿ボルトを取り外し、付属の固定具を使用してスイベルブラケットを取り付けます。スイベルブラケットを再組み立てし、必要に応じて角度を付け、すべての固定具を締めます。

TCS62 を天井取り付けアプリケーションに取り付けるには、上記のように構成部品を分離し、適切な固定具（付属していません）を使用して上部を天井に固定します。残りの半分を TCS62 キャビネットに取り付け、ブラケットを再組み立てし、必要に応じて角度を付け、すべての固定具を締めます。

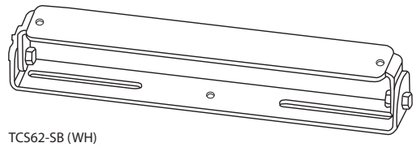


スピーカーアレイとクラスター

2 つ以上のキャビネットのアレイでは、フライプレートとキャビネット間カプラーのキットを使用する必要があります。これらのキットは、M10 リギングポイントを介してキャビネットの側面に固定され、「デイジーチェーン」方式で組み立てられて必要なアレイを構築します。2 つ以上のキャビネットで構成されるすべてのスピーカーアレイの場合：

必要なキャビネット間カプラーキットの数=ボックスの数– 1、必要なフライプレートキットの数=ボックスの数。

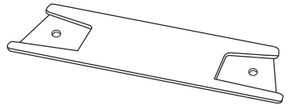
ここに示されているのは、TCS キャビネットで使用可能なコンポーネントパーツです。



TCS62-SB (WH)
Swivel bracket for TCS62

Contents:

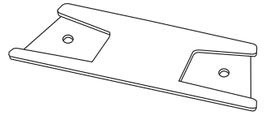
1 x Bracket
2 x M8 Bolts
2 x M8 Spring Washers
2 x M8 Flat Washers
2 x M10 Bolts
2 x M10 Spring Washers
2 x M10 Flat Washers



TCS152-FP (WH)
Fly Plate Kit for TCS152

Contents:

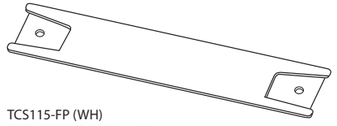
2 x Fly Plates
4 x M10 Bolts
4 x M10 Spring Washers
4 x M10 Flat Washers



TCS122-FP (WH)
Fly Plate Kit for TCS122

Contents:

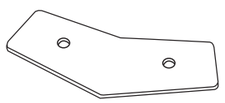
2 x Fly Plates
4 x M10 Bolts
4 x M10 Spring Washers
4 x M10 Flat Washers



TCS115-FP (WH)
Fly Plate Kit for TCS115B

Contents:

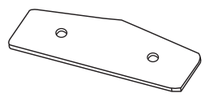
2 x Fly Plates
4 x M10 Bolts
4 x M10 Spring Washers
4 x M10 Flat Washers



TCS-FK1 (WH)
Inter-Cabinet Coupler Kit for TCS122 or TCS152

Contents:

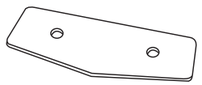
2 x ICC



TCS-FK3 (WH)
Inter-Cabinet Coupler Kit for TCS115B

Contents:

2 x ICC



TCS-FK2 (WH)
Inter-Cabinet Coupler Kit for TCS122 or TCS152

Contents:

2 x ICC

EB-10-40
Eyebolt M10 x 40mm

Contents:

1 x Eyebolt

TCS Passive Series

アイボルトで一時停止

TCS キャビネットは、上部、下部、側面、および背面にある内部リギングポイントに結合されたオプションのアイボルトを使用して吊り下げることができます。最も簡単な方法は、上部の 2 つのリギングポイントと、背面パネルの中央にある1つのプルバックリギングポイントを使用することです。

適切な皿ネジを取り外し、ネジの長さが 18mm 以上のショルダーアイボルトと交換します。後部のリギングポイントを使用してキャビネットに角度を付け、部屋を最適にカバーします。必要に応じて、キャビネットを逆さまに吊るすことができます。

すべてのインストール方法に関する重要な注意事項： 恒久的に設置されたサウンドシステムの取り付けは、必要なタスクを実行するために必要な経験と認定を受けた資格のある担当者が行わない限り、危険な場合があります。壁、床、または天井は、実際の荷重を安全かつ確実に支えることができなければなりません。使用する取り付けアクセサリは、スピーカーと壁、床、または天井の両方に安全かつ確実に固定する必要があります。

リギングコンポーネントを壁、床、または天井に取り付けるときは、使用するすべての固定具と留め具が適切なサイズと定格荷重であることを確認してください。壁と天井のクラッディング、および壁と天井の構造と構成はすべて、特定の固定配置を特定の負荷に対して安全に使用できるかどうかを判断する際に考慮する必要があります。キャビティプラグまたはその他の専門的な固定具は、必要に応じて適切なタイプである必要があり、メーカーの指示に従って取り付けて使用する必要があります。

フライングシステムの一部としてスピーカーキャビネットを操作すると、正しく取り付けられていないと、深刻な健康上のリスクにさらされたり、死亡する可能性があります。さらに、設置または飛行の前に、電気的、機械的、および音響的な考慮事項について、資格のある認定された（地方の州または国の当局による）担当者と話し合うようにしてください。

スピーカーキャビネットは、ユニットに付属の専用機器と元の部品およびコンポーネントを使用して、資格のある認定された担当者のみがセットアップおよび飛行するようにしてください。不足している部品やコンポーネントがある場合は、システムのセットアップを試みる前にディーラーに連絡してください。

お住まいの国で適用される地域、州、およびその他の安全規制を必ず遵守してください。同封の「サービス情報シート」に記載されている Music Tribe 会社を含む Music Tribe は、製品の不適切な使用、設置、または操作に起因するいかなる損害または人身傷害についても責任を負いません。システムが安全で安定した状態に保たれていることを確認するために、資格のある担当者が定期的にチェックを行う必要があります。スピーカーが飛んでいる場所では、スピーカーの下の領域に人の往来がないことを確認してください。一般の人が立ち入りまたは使用できる場所にスピーカーを飛ばさないでください。

スピーカーは、動作していない場合でも磁場を生成します。したがって、このようなフィールドの影響を受ける可能性のあるすべての資料（ディスク、コンピューター、モニターなど）は安全な距離に保管してください。安全な距離は通常 1〜2 メートルです。

HF ホーンパターンを回転させる

すべての TCS122 および TCS152 モデルの高周波ホーンは、水平方向と垂直方向の分散パターンを交換するために 90 度回転させることができます。これは、クラスターを組み立てる場合や、キャビネットを水平方向に設置した場合に元の分散を維持する場合に特に便利です。

1. キャビネットの背面を適切な作業面に置きます。
2. グリルを固定している 10 本のポジドライブネジを外し、グリルを脇に置きます（図 1）。
3. ベースドライバーを取り外して取り外し（図 2）、コンプレッションドライバーの保持ブレースにアクセスし、後で再接続できるようにベースドライバーの極性をメモします。
4. バスドライバーの空洞から手を伸ばし、コンプレッションドライバーの保持ブレースを固定している 2 つの蝶ナットを緩めます（図 3）。
5. ホーンをエンクロージャーに固定しているホーン固定ネジを外し、ホーンとコンプレッションドライバーアセンブリを持ち上げます（図 4）。（サービスまたは交換に必要な場合は、圧縮ドライバーからケーブルを外し、後で再接続できるように極性をメモしておきます。）
6. ホーンを回転させて、目的のカバレッジパターンを実現します（図 5）。
7. 手順 1〜5 を逆に実行して、キャビネットとドライバを再組み立てします。
8. 圧縮ドライバケーブルが外れている場合は、正しい極性を確認しながらケーブルを再接続します（白いケーブルを ＋ve 端子に、黒いケーブルを -ve 端子に）。
9. ホーンとコンプレッションドライバーをキャビネットに戻し、ドライバーケーブルがコンプレッションドライバーリテーナーの下を通るようにし、コンプレッションドライバーがリテーニングブレースにぴったりと収まるようにします。
10. 蝶ナットを締めて、圧縮ドライバー保持ブレースに戻します（図 3）。
11. ホーン固定ネジを元に戻し、締めてホーンをエンクロージャーに固定します（図 4）。
12. 正しい極性を確認しながら、ベースドライバーケーブルを再接続します（赤いケーブルを ＋ve 端子に、青いケーブルを –ve 端子に）。
13. すべてのコンポーネントをチェックし、ホーンの向きが正しいことを確認します（図 6）。
14. グリルを交換し（図 1）、使用前にキャビネットの位相を確認します。

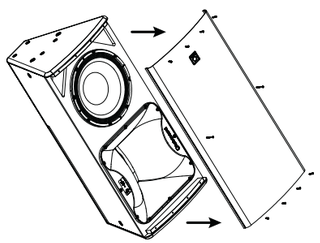


Fig. 1

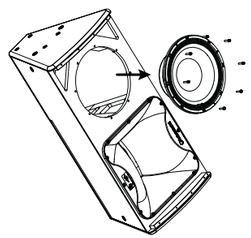


Fig. 2

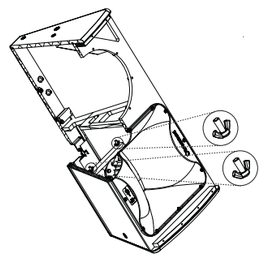


Fig. 3

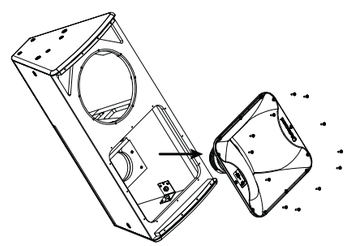


Fig. 4

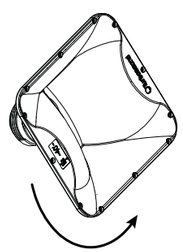


Fig. 5

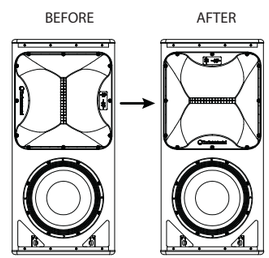


Fig. 6

技術仕様

	TCS62 (WH)	TCS122/64 (WH)	TCS122/94 (WH)	TCS122/96 (WH)	TCS152/64 (WH)	TCS152/94 (WH)	TCS152/96 (WH)
システム							
周波数応答	60 Hz - 20 kHz ±3 dB 50 Hz - 20 kHz -10 dB	50 Hz - 18 kHz ±3 dB 45 Hz - 20 kHz -10 dB	50 Hz - 18 kHz ±3 dB 45 Hz - 20 kHz -10 dB	50 Hz - 18 kHz ±3 dB 45 Hz - 20 kHz -10 dB	41 Hz - 18 kHz ±3 dB 35 Hz - 20 kHz -10 dB	41 Hz - 18 kHz ±3 dB 35 Hz - 20 kHz -10 dB	41 Hz - 18 kHz ±3 dB 35 Hz - 20 kHz -10 dB
公称分散	100°Hx60°V @ -6dB ポイント、回転可能	60°Hx40°V @ -6 dB ポイント、回転可能	90°Hx40°V @ -6 dB ポイント、回転可能	90°Hx60°V @ -6 dB ポイント、回転可能	60°Hx40°V @ -6 dB ポイント、回転可能	90°Hx40°V @ -6 dB ポイント、回転可能	90°Hx60°V @ -6 dB ポイント、回転可能
指向性係数 (Q)	12.8	18.3	12.9	8.7	18.3	12.9	8.7
指向性指数 (DI)	11.1	12.6	11.1	9.4	12.6	11.1	9.4
パワーハンドリング (IEC)							
受動的	連続 175W、ピーク 700 W	600 W 連続、2400W ピーク	600 W 連続、2400W ピーク	600 W 連続、2400W ピーク	600 W 連続、2400W ピーク	600 W 連続、2400W ピーク	600 W 連続、2400W ピーク
バイアンプ	–	LF : 連続 600 W、ピーク 2400 W HF : 連続 75 W、ピーク 300 W	LF : 連続 600 W、ピーク 2400 W HF : 連続 75 W、ピーク 300 W	LF : 連続 600 W、ピーク 2400 W HF : 連続75 W、ピーク 300 W	LF : 連続 600 W、ピーク 2400 W HF : 連続75 W、ピーク 300 W	LF : 連続 600 W、ピーク 2400 W HF : 連続75 W、ピーク 300 W	LF : 連続 600 W、ピーク 2400 W HF : 連続 75 W、ピーク 300 W
感度	90 dB (1 W @ 1 m)	96 dB (1 W @ 1 m)	96 dB (1 W @ 1 m)	96 dB（1 W @ 1 m）	97 dB（1 W @ 1 m）	97 dB（1 W @ 1 m）	97 dB（1 W @ 1 m）
最大 SPL							
受動的	112.5 dB 連続、118.5dB ピーク	124 dB 連続、130dB ピーク	124 dB 連続、130dB ピーク	124 dB 連続、130dB ピーク	125 dB 連続、131dB ピーク	125 dB 連続、131dB ピーク	125 dB 連続、131dB ピーク
バイアンプ	–	LF : 連続 124 dB、ピーク 130 dB HF : 連続 128 dB、ピーク 134 dB	LF : 連続 124 dB、ピーク 130 dB HF : 連続 128 dB、ピーク 134 dB	LF : 連続 124 dB、ピーク 130 dB HF : 連続 128 dB、ピーク 134 dB	LF : 連続 125 dB、ピーク 131 dB HF : 連続 128 dB、ピーク 134 dB	LF : 連続 125 dB、ピーク 131 dB HF : 連続 128 dB、ピーク 134 dB	LF : 連続 125 dB、ピーク 131 dB HF : 連続 128 dB、ピーク 134 dB
インピーダンス							
受動的	8Ω	8Ω	8Ω	8 Ω	8 Ω	8 Ω	8 Ω
バイアンプ	–	LF: 8 Ω HF: 6 Ω	LF: 8 Ω HF: 6 Ω	LF: 8 Ω HF: 6 Ω	LF: 8 Ω HF: 6 Ω	LF: 8 Ω HF: 6 Ω	LF: 8 Ω HF: 6 Ω
クロスオーバータイプ	受動的	パッシブ/バイアンプ、切り替え可能	パッシブ/バイアンプ、切り替え可能	パッシブ/バイアンプ、切り替え可能	パッシブ/バイアンプ、切り替え可能	パッシブ/バイアンプ、切り替え可能	パッシブ/バイアンプ、切り替え可能
コンポーネント	1 x 6 "（162 mm）LF ドライバー 1 x 1 "（25 mm）HF 圧縮ドライバー	1 x 12 "（312 mm）LF ドライバー 1 x 1.4 "（36 mm）HF 圧縮ドライバー	1 x 12 "（312 mm）LF ドライバー 1 x 1.4 "（36 mm）HF 圧縮ドライバー	1 x 12"（312 mm）LF ドライバー 1 x 1.4"（36 mm）HF 圧縮ドライバー	1 x 15"（394 mm）LF ドライバー 1 x 1.4"（36 mm）HF 圧縮ドライバー	1 x 15"（394 mm）LF ドライバー 1 x 1.4"（36 mm）HF 圧縮ドライバー	1 x 15"（394 mm）LF ドライバー 1 x 1.4"（36 mm）HF 圧縮ドライバー
エンクロージャー							
コネクタ	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xバリアストリップ端子	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xバリアストリップ端子	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xバリアストリップ端子	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xバリアストリップ端子	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xバリアストリップ端子	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xバリアストリップ端子	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xバリアストリップ端子
配線							
受動的	ピン1＋/1-入力、ピン2＋/2-リンク	ピン1＋/1-入力、ピン2＋/2-リンク	ピン1＋/1-入力、ピン2＋/2-リンク	ピン 1＋/1- 入力、ピン 2＋/2- リンク	ピン 1＋/1- 入力、ピン 2＋/2- リンク	ピン 1＋/1- 入力、ピン 2＋/2- リンク	ピン 1＋/1- 入力、ピン 2＋/2- リンク
バイアンプ	–	ピン1＋/1- LF、ピン2＋/2-HF	ピン1＋/1- LF、ピン2＋/2-HF	ピン 1＋/1- LF、ピン 2＋/2-HF	ピン 1＋/1- LF、ピン 2＋/2-HF	ピン 1＋/1- LF、ピン 2＋/2-HF	ピン 1＋/1- LF、ピン 2＋/2-HF
寸法 (HWD)	224 x 402 x 198 mm（8.8 x 15.8 x 7.8"）	834 x 399 x 425 mm（32.8 x 15.7 x 16.7"）	834 x 399 x 425 mm（32.8 x 15.7 x 16.7"）	834 x 399 x 425 mm (32.8 x 15.7 x 16.7")	834 x 473 x 451 mm (32.8 x 18.6 x 17.8")	834 x 473 x 451 mm (32.8 x 18.6 x 17.8")	834 x 473 x 451 mm (32.8 x 18.6 x 17.8")
正味重量	6.9 kg（15.2 ポンド）	26.5 kg（58.4 ポンド）	26.5 kg（58.4 ポンド）	26.5 kg（58.4 ポンド）	28.9 kg（63.7 ポンド）	28.9 kg（63.7 ポンド）	28.9 kg（63.7ポンド）
建設	12 mm（½"）バーチ合板	15 mm（5/8"）バーチ合板	15 mm（5/8"）バーチ合板	15 mm（5/8"）バーチ合板	15 mm（5/8"）バーチ合板	15 mm（5/8"）バーチ合板	15 mm（5/8"）バーチ合板
終了	セミマットブラックペイント（白はオプション）	セミマットブラックペイント（白はオプション）	セミマットブラックペイント（白はオプション）	セミマットブラックペイント（白はオプション）	セミマットブラックペイント（白はオプション）	セミマットブラックペイント（白はオプション）	セミマットブラックペイント（白はオプション）
グリル	粉体塗装の穴あき鋼	粉体塗装の穴あき鋼	粉体塗装の穴あき鋼	粉体塗装の穴あき鋼	粉体塗装の穴あき鋼	粉体塗装の穴あき鋼	粉体塗装の穴あき鋼
フライングハードウェア	M8 X 8、M6 X2 ポイント	M10 x 9、M8 X8 ポイント	M10 x 9、M8 X8 ポイント	M10 x 9、M8 X8 ポイント	M10 x 9、M8 X8 ポイント	M10 x 9、M8 X8 ポイント	M10 x 9、M8 X8 ポイント
付属品							
	TCS62-SB（WH）TCS62 用スイベルブラケット	TCS122 用の TCS122-FP（WH）フライプレートキット TCS122 または TCS152 用の TCS-FK1（WH）キャビネット間カプラーキット TCS122 または TCS152 を備えたTCS115B 用の TCS-FK2（WH）キャビネット間カプラーキット	TCS122 用の TCS122-FP（WH）フライプレートキット TCS122 または TCS152 用の TCS-FK1（WH）キャビネット間カプラーキット TCS122 または TCS152 を備えたTCS115B 用の TCS-FK2（WH）キャビネット間カプラーキット	TCS122 用の TCS122-FP（WH）フライプレートキット TCS122 または TCS152 用のTCS-FK1（WH）キャビネット間カプラーキット TCS122 または TCS152 を備えたTCS115B 用の TCS-FK2（WH）キャビネット間カプラーキット	TCS152 用の TCS152-FP（WH）フライプレートキット TCS122 または TCS152 用の TCS-FK1（WH）キャビネット間カプラーキット TCS122 または TCS152 を備えたTCS115B 用の TCS-FK2（WH）キャビネット間カプラーキット	TCS152 用の TCS152-FP（WH）フライプレートキット TCS122 または TCS152 用の TCS-FK1（WH）キャビネット間カプラーキット TCS122 または TCS152 を備えたTCS115B 用の TCS-FK2（WH）キャビネット間カプラーキット	TCS152 用の TCS152-FP（WH）フライプレートキット TCS122 または TCS152 用の TCS-FK1（WH）キャビネット間カプラーキット TCS122 または TCS152 を備えたTCS115B 用の TCS-FK2（WH）キャビネット間カプラーキット

技術仕様

	TCS110B (WH)	TCS212B (WH)	TCS115B (WH)	TCS218B (WH)
システム				
周波数応答	50 Hz - 150Hz ±3dB 40 Hz - 200 Hz -10 dB	38 Hz - 200 Hz ±3 dB 32 Hz - 200 Hz -10 dB	45 Hz - 150 Hz ±3 dB 40 Hz - 200 Hz -10 dB	33 Hz - 200 Hz ±3 dB 27 Hz - 200 Hz -10 dB
公称分散	半空間	半空間	半空間	半空間
パワーハンドリング（IEC）	300 W 連続、1200W ピーク	800 W連続、3200W ピーク	500 W 連続、2000W ピーク	連続 1600W、ピーク 6400 W
感度	94 dB（1 W @ 1 m）	100 dB（1 W @ 1 m）	97 dB（1 W @ 1 m）	99 dB（1 W @ 1 m）
最大SPL	連続 119dB、ピーク 125 dB	連続 129dB、ピーク 135 dB	124 dB 連続、130dB ピーク	連続 131dB、ピーク 137 dB
インピーダンス	8Ω	4Ω	8Ω	パラレル : 4Ω ディスクリート : 8Ωx2
コンポーネント	1 x 10"（262 mm）LF ドライバー	2 x 12"（316 mm）LF ドライバー	1 x 15"（387 mm）LF ドライバー	2 x 18"（460 mm）LF ドライバー
エンクロージャー				
コネクタ	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xパリアストリップ端子	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xパリアストリップ端子	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xパリアストリップ端子	1 x NeutrikspeakON * NL4、1xパリアストリップ端子
配線				
パラレル/スイッチなし	ピン 1＋/1- 入力、ピン 2＋/2- リンク	ピン 1＋/1- 入力、ピン 2＋/2- リンク	ピン 1＋/1- 入力、ピン 2＋/2- リンク	ピン 1＋/1- 入力、ピン 2＋/2- リンク
離散	–	–	–	ピン 1＋/1- 入力1、ピン 2＋/2- 入力 2
寸法（HWD）	330 x 585 x 330 mm (13.0 x 23.0 x 13.0")	420 x 1000 x470 mm (16.5 x 39.4 x 18.5")	834 x 469 x 452 mm (32.9 x 18.5 x17.8")	1130 x 710 x 730 mm (44.5 x 28.0 x 28.8")
正味重量	15.8 kg（34.8 ポンド）	45.2 kg（99.6 ポンド）	32.7 kg（72.0 ポンド）	93.5 kg（205.7 ポンド）
建設	15 mm（5/8"）バーチ合板	15 mm（5/8"）バーチ合板	15 mm（5/8"）バーチ合板	18 mm（5/8"）バーチ合板
終了	セミマットブラックペイント（白はオプション）	セミマットブラックペイント（白はオプション）	セミマットブラックペイント（白はオプション）	セミマットブラックペイント（白はオプション）
グリル	粉体塗装の穴あき鋼	粉体塗装の穴あき鋼	粉体塗装の穴あき鋼	粉体塗装の穴あき鋼
フライングハードウェア	M10 x 8	M10 x 16	M10 x 8	M10 x 8
付属品				
			TCS115B 用 TCS115-FP（WH）フライプレートキット TCS122 または TCS152 を備えた TCS115B 用の TCS-FK2 （WH）キャビネット間カプラーキット TCS115B 用 TCS-FK3（WH）キャビネット間カプラーキット	

*すべてのサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。それらの使用は、商標の主張を構成するものでも、商標所有者の Music Tribe との提携を構成するものでもありません。製品名は、互換性、効果、および/またはコンポーネントの参照としてのみ言及されています。

JP

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Turbosound